



ケーススタディ  
肌荒れ克服への道

*Chapter 5*



## 化粧品が肌に合わなかったA子さん（34歳 銀行員）

この章では肌荒れに悩んでいた患者さんを治療したケースを通じて、肌荒れのパターンと治す方法をお伝えしていきます。

肌荒れといっても原因や治療法は人によりバラバラです。現在肌荒れに悩んでいる方は、ご自分のパターンに近いものから治療法を考えてみていただくとよいでしょう。

A子さんは5年前に病気を患い、それ以降とても健康に気を遣っていました。

食品添加物をできるだけ使わない食事を心がけ、外食も必要最小限にしてみました。

有名な某無添加化粧品メーカーの化粧品を使ってきましたが、ここ2年ほどお肌の乾燥に悩まされ、夏でもお顔の皮膚が粉をふき、つっぱり感を感じていたそうです。

A子さんは、大きな病気をしたせいで、お肌が乾燥するのかと半分あきらめていましたが、1カ月ほど前から目の周りが赤くなり、徐々にひりひりが強くなってきて、

これは病院に行かなくてはと当院を受診されました。

初診時、彼女の目の周りは赤く腫れ上がり、お顔の皮膚が全体的に乾燥。こめかみに湿疹、あごに細かいニキビが存在していました。

A子さんのお顔を見た瞬間、化粧品が原因であることはすぐわかりました。

私は、A子さんに「今お使いの化粧品がお肌に合わないのが原因です」とお話ししました。すると、A子さんは、自分はとても健康に気をつけ、化粧品も無添加のものを使っている！ それにケチをつけるのかと反論してきました。

私は、A子さんがお使いの無添加化粧品は、パラベンという防腐剤が無添加なだけであって、ほかにたくさんの有害物質が含まれていることを説明しましたが、納得していただけません。それでは、化粧品のテストだけはしてみましようと言われ、A子さんはしぶしぶ了解されました。

テストの結果は、A子さんが使っていた化粧品のほとんどに反応が出ました。

おこなったテストは、パッチテストというものです。使っている化粧品をすべて持参していただき、少量の化粧品をそれぞれテスト用の絆創膏につけ、皮膚に貼ります。

2日間貼りっぱなしで、できるだけ濡らさないように、汗をかかないように気をつけていただきます。2日後に絆創膏を取って皮膚の反応を見ます。

A子さんは、パッチテストで赤くなつたご自分の腕を見て泣き崩れました。「この化粧品を信じて使っていたのに……化粧品のせいだったなんて……」

1時間ほどして、やっと話ができる状態になつてから、化粧品に含まれる有害物質について詳しく説明させていただきました。A子さんは、やはり納得がいかない様子でしたが、今後の治療方針として、有害物質を含まない化粧品にすべて替えることを了承していただきました。

1週間後にA子さんが来院しました。

**目の周りの赤みは引き、こめかみの湿疹は改善していました。お顔全体の乾燥と顎のニキビは軽度。**

**A子さんの表情は、前回とはうって変わつてとてもこやかです。**

「先日家に帰ってから、使っていた無添加化粧品の成分を初めて見てみました。何が書いてあるのかはよくわかりませんが、無添加と信じていた化粧品に、あんな

にたくさんの化学物質が入っていたなんて。有害物質が入っていない化粧品を使い始めたら、顔がすくっとさわやかなんです」

その後1カ月の再診で、A子さんのお肌は別人のように透き通っていました。乾燥はまったくなくなり、あごのニキビもすっかりよくなりました。

「私の体に何かよくないことがあれば、すべて大きな病気をしたからだと思いこんでいました。そして無添加と宣伝している化粧品が、本当は違うと知ってショックでした。先生の話が信じられずに反抗してすみませんでした。これからもよろしくお願いします」



### かゆみが出たB子さん（38歳 ピアノの先生）

B子さんは、3年前からお顔のかゆみ、赤みがあり、近所の皮膚科に通っていました。診断名は「脂漏性皮膚炎<sup>しろうせいひふえん</sup>」。薬を塗ればよくなるものの、やめると悪くなるのをずっと繰り返していました。ここ半年は、薬を塗ってもかゆみが治まらず、夜中にかきむしって痛みで起きることがたびたびあり、車で2時間の当院を受診されたのです。

初診時、顔全体に赤み、細かい皮むけ、ところどころにひっかき傷がありました。「脂漏性皮膚炎」とは、脂の分泌の多い部分である鼻周りや眉間、額、頭皮、生え際にあらわれる疾患で、B子さんのような顔全体の赤み、かゆみは症状ではありません。また、フェイスラインにくっきりと赤みの境界線があり、何かにかぶれていることが一目瞭然でした。

かぶれの原因は基礎化粧品なのか、メイクアップ化粧品なのか。または治療のため

# Chapter 5

に塗っていた軟膏の可能性も考えられます。

私は、パッチテストの提案をし、B子さんは承諾してくれました。

パッチテストでは、化粧水と乳液と日焼け止め反応がありました。特に日焼け止めを貼った腕の皮膚は水疱ができるくらいの反応があらわれ、フェイスラインの赤い境界線の原因は日焼け止めと断定できました。

私はB子さんに、病名は「脂漏性皮膚炎」ではなく「接触性皮膚炎」いわゆる「かぶれ」であることを告げました。「脂漏性皮膚炎」と「接触性皮膚炎」の治療には同じ外用薬が使われます。薬を塗って一時的によくなっても、かぶれの原因である化粧品を毎日使っていれば完治することはありません。

治療方針は以下のようにしました。

- 化粧品で壊されたお肌を回復させるために、軟膏を数日塗布する
- パッチテストでお肌に合わないと思われる化粧品をやめる

B子さんは、化粧品の害に関する話をよく理解され、合わなかった化粧品だけでなく、すべての化粧品をやめ、有害な物質を一切含まない化粧品に替えられました。

1週間後に来院されたときには、お顔の赤みはすっかりとれ、ひっつき傷の跡が残るだけになっていました。顔全体の細かい皮むけもなくなり、つるつとしたお肌になっています。

私…もう、軟膏を塗るのはやめましょう。しかし、今まで3年間お肌が壊れ、軟膏に頼るお肌になっていたので、やめると一時的にお肌の調子が悪くなる可能性が高いです。まだ定期的に通ってください。

B子さんは、わかりました。3年も治らなくて苦しんでいたのが、嘘のようです。本当にうれしいです。

2週間後の再診時、やはり調子が悪いとのこと。赤みはないけれど、全体に粉をふいていて、少しかゆみがある状態。

ケーススタディ  
肌荒れ克服への道

# Chapter 5

私…これくらいの状態は、全く問題がありません。少しかゆいのはつらいかもしれませんが、前に比べたら大したことないでしょう？ これから半年くらいかけて、このように悪い状態とよい状態を繰り返しながら、お肌は回復していきます。

B子さん…はい。先生を全面的に信じてついていきます。

その後Bさんは、3カ月ほどたまにかゆい状態があったものの、順調に回復されました。

今でもときどき車で2時間かけて当院を受診され、元気なお顔を見せてくれます。



## 肌の水分量が不足していたC子さん（26歳 看護師）

C子さんは、20歳を過ぎたころから顔全体にニキビが出るようになりました。ここ最近の仕事がハードで毎夜の夜勤明けにニキビがひどくなり、顔中がニキビで覆い尽くされる状態になってしまったとのこと。インターネットでニキビにはオイルがよくないとの書き込みを見て、オイルフリーのニキビ用化粧品をしばらく使ってきたものの、いっそうによくならないと当院を受診されたのです。

初診時、C子さんのお肌は全体的に乾燥、顔中に化膿した大きいニキビと、白ニキビが混在している状態。

スキンケアの仕方を尋ねると、「とにかくオイルはよくないので、オイルフリーの洗顔フォームとお湯で顔を洗ったあと、化粧水だけをつけて終わりです。ニキビを隠したいので、カバー力が強いリキッドファンデーションを使っています。たまにエス

テに通ってニキビによいというマッサージを受けています」とのことでした。

私は、今C子さんのお肌に起こっていることを説明しました。

- 皮膚の水分量が異常に少なく、角質がゴワゴワして、毛穴が詰まっている状態
- リキッドファンデーションには油分やシリコンなど、洗顔フォームだけでは落とせない成分が配合されているので、それらも毛穴つまりの原因になっていること
- ニキビができているところをマッサージで刺激すると、なおさら大きく化膿すること

また、皮膚の水分量が異常に少ない理由として考えられるのは、

○お湯で洗顔しているの、お肌が自ら潤うためにつくり出す大事な保湿成分が流れ出てしまっている

○今使っている化粧品はオイルが入っていないと宣伝されているが、ほかの有害物質が含まれている

○オイルがよくないと思い込み、保湿する力が弱い化粧水だけで済ませている  
○そもそも、使っている化粧品が合っていないかもしれない  
といったことを説明しました。

そして、大人のニキビにすべてのオイルが悪いと思いつむのは間違いであることもお話ししました。確かに、オレイン酸を多く含むオリーブオイルや椿オイルなどはニキビを悪化させますが、オレイン酸が少ないオイル、炎症を抑える作用があるオイルはニキビを改善方向に向かわせます。

まずは、化粧品のパッチテストをしました。その結果、洗顔フォーム、化粧水、リキッドファンデーション、使っている化粧品のすべてに反応があらわれたのです。

治療方針はお肌の水分量を増やすことです。

○今の化粧品を一切やめて、有害な物質を含まない化粧品に替える。オイルを怖がら

ずに、合成界面活性剤無配合のクレンジングオイルと保湿オイルを使う

○ぬるま湯で洗顔する

○洗髪時、お顔にシャンプー、リンス、すすぐときのお湯などがつかないように細心の注意を払う

○マッサージは一切やめる。不用意にお顔を触らない

C子さんは、そんなことでニキビが治るのですか？ と不安そうでしたが、とにかく実行してくださいとお話ししました。

1週間後の再診時、C子さんのニキビは明らかに勢いが収まっています。真っ赤に腫れていたニキビが小さく赤紫色になり、白ニキビの数もグンと減っていました。

私はC子さんに「よくなってきていますね？」とお話しすると「そうですか？」と不満げです。

今までニキビの患者さんをたくさん治療してきましたが、多くの患者さんは改善してきても「改善していない」と言います。ニキビの化膿や赤みが軽減しても、ポツポ

ツの数はそんなにすぐに減少するわけではないので、患者さんにとって、それは改善したとは感じられないようです。

**ニキビがいったん出ると、赤みがすべてなくなるまでは半年〜3年ほどかかります。1週間でそんなに改善するはずがありません。**

「じゃあ、1週間前のご自分のお顔覚えている？ここにこんなに大きなニキビがあったよね？ほら、ここに白ニキビがもつとあったでしょ？」と詳しく説明します。すると、やつとそうかも……と納得してくれます。

ニキビ患者さんの治療でいちばん難しいのは、治療が長くかかるので、モチベーションを保つために毎回よくなっていると自覚してもらうことなのです。

モチベーションを保つことができなければ、雑誌によさそうな化粧品が紹介されていたから、友達がすすめてきたから、とまた間違いを繰り返し、通院も治療も中断してしまいます。それは患者さんにとっていちばんの不幸なのです。

C子さんは、症状がよくなっていることを自覚し、今後も気をつけることを再確認

して、1カ月後の再診の予約をとっていかれました。

1カ月後の再診時、C子さんのお顔には化膿したニキビはなくなり、小さく赤いニキビ跡に置き換わっていました。白ニキビはまだ残るものの、初診時の10分の1程度に減っていました。

C子さんは、順調によくなくなっていることを実感し、毎日を明るく過ごせるようになったと話してくれました。しかし、ニキビ跡の改善に時間がかかることが待てないとのこと、光治療の追加を希望され、徐々にきれいなお肌を取り戻している真っ最中です。

※C子さんが受けている治療は、フォトRFオーロラという治療です。(保険外)

# Chapter 5



## 手づくり化粧品でも改善しなかった D子さん（42歳 専業主婦）

D子さんは、幼いころからお肌が弱かったそうです。いろいろな化粧品を使っては顔が赤く、かゆくなることを繰り返していたので、3年前にインターネットで検索した結果、自分で手づくり化粧品を作成することにたどり着きました。手づくり化粧品を使うようになってから、お肌の調子がよくなったものの、1年前からあごだけにニキビが出て治らなくなり、たまに顔全体もかゆく感じるようになったので、当院を受診されたとのことでした。

初診時、D子さんのお肌は、全体的には正常。あごだけに化膿したニキビが存在する状態でした。D子さんのお話から、注意点を伝えました。

○手づくり化粧品に使われていたのは一般的な化粧水だが、入れる必要がないアレルギーを起こす可能性がある物質も入っていたので、それは除くように

ケーススタディ  
肌荒れ克服への道

# Chapter 5

○一度つくってから1カ月くらい使っていることもあるとのことなので、それでは雑菌が繁殖してお肌トラブルの元になるので、1週間以内で新しいものにつくり替える  
○保湿オイルとして、食用のエキストラバージンオリブオイルを使っているのとで、ニキビが出やすい人は違うオイルがよい  
○湯船にあごまで浸かってはいけない（あごにニキビができる患者さんの多くがこれをやっている）

2週間後の再診時、D子さんのあごのニキビはすっかりよくなりました。しかし、まだお顔がたまにかゆいとのこと。D子さんのように、とてもお肌が弱い方は洗顔時に使うタオルに残留している洗剤や柔軟剤にかぶれることがあることをお話しし、お顔を拭くときはキッチンペーパーを使いましょうと指示しました。

その2週間後の再診時、D子さんは「すっかりよくなりました！」と笑顔でいらっしやいました。



## 金属アレルギーのE子さん（35歳 美容師）

E子さんは10年くらい前から、ニキビが出るようになりました。最初は額だけだったのが、だんだん顔中に広がっていったことです。近くの皮膚科を受診して内服・外用薬をもらうと一時的によくはなるけれど、薬が切れるとまた悪化することの繰り返し。

ここ3年くらいは、薬をもらっても改善が見られないので、ほかの皮膚科を転々とするも、治療内容と処方薬はほとんど同じで、絶望的になっていったとのこと。友人の話を聞いて、車で1時間弱の当院を受診されました。

初診時、E子さんのお顔全体が化膿したニキビでいっぱい、特に額はニキビで埋め尽くされているような状態でした。E子さんは、当院を受診される前に、当院のホームページをご覧になり、私のブログを読んでもくださったとのこと。E子さんは、私の

ブログから原因は金属アレルギーではないかと思うので検査をしてほしいとおっしゃいました。

私も、これは金属アレルギーが原因である確率が高いとの直感があったので、話がまとまるのは早かったです。

治療方針は以下にしました。

- 金属アレルギーのテストをする
- 金属アレルギーが判明すれば、歯科金属を取り除く
- アレルギーのある金属を多く含んだ食品は、できるだけ避けるようにする
- 歯科金属を取り除いても体からすべて排出されるまでは半年ほどかかるので、時間が経つのを待つ

金属アレルギーの検査は、化粧品のパッチテストと同じように、それぞれの金属の溶液をテスト用の絆創膏で皮膚に貼りつけるものです。

E子さんの金属パッチテストでは、多くの金属に強い反応があらわれました。通常の患者さんは、金属アレルギーが判明するとショックを受けるのが常なのですが、E子さんは違いました。おもむろにガッツポーズをしたのです。「原因がわかった！ニキビが治る！」と。

E子さんの行動は速かったです。すぐに歯科の予約をとり、金属が入っている歯6本をセラミックに替える治療を始めました。私は歯科の先生に手紙を書き、この金属にアレルギーがあるので、これらを含まないセメントを使ってくださいとお願いをしました。

4カ月後、E子さんは私の外来を受診され、やっと金属を取り除けたと報告してくれました。

そのときのE子さんのニキビは、初診時の半分くらいになっていました。

治療の最中は、口の中に直接削られた金属が付着するため、ニキビは悪化したようです。そのことも伝えてあったので、心が折れることなく治療ができたとおっしゃっていました。

E子さんがアレルギーを持つ金属は、チョコレート、ナッツ類などに多く含まれているので、それらはあまり食べないように指導しました。そして時間が経つのを待ちましょうと。

「半年後にまた来ます！」とおっしゃったのですが、E子さんは半年経っても1年経ってもいらっしやいませんでした。

約2年後、E子さんはいらっしやいました。お顔のニキビはすっかりよくなっていました。

「先生、ありがとうございます！感謝はしていたんだけど、ニキビよくなったら来るのが面倒になっちゃって。今日はこっちに来る用事があったから、お礼を言いに来たの」と。



### 見本のような美肌生活でも 肌荒れのF子さん（43歳 会社経営）

F子さんは、7年前の当院開業当初からの患者さん。お肌が弱く、さまざまな化粧品にかぶれ、ニキビや乾燥肌を繰り返す人生を送ってきた方。私がつくった化粧品を使って肌荒れが改善し、喜んでくださった患者さんの1人です。

しばらく肌の調子がよかったです、たまに額に細かいニキビが出ることもあり、原因がわからない。金属アレルギーもあるのですが、できるだけチョコやナッツ類を食べないようにしている。気にならないくらいなのだが、出ないにこしたことはない。どうにかならないのか？ というご相談でした。

F子さんは、お顔の光治療や美容注射を受けに、当院に定期的に通ってくださっています。いつもにこやかで、F子さんがいらつしゃると私も元気をもらえる素敵な女性。

相談を受けたとき、F子さんの額にはよく見ないと気がつかないくらい小さなニキビがありました。F子さんは美肌のための模範的な生活を送っています。若いころからお肌のことでずっと悩んでいたのも、お肌がきれいになるために、よいとされることはぜんぶ実行してきた方です。

お肌に悪いものはない、睡眠は7時間、定期的にジムに通い運動をしている。ひとつだけ模範的でないことは、食生活です。甘いもの大好き。お酒が大好き。肉ばかり食べている。便秘ではないけれど、快便ではないとのこと。

私…額のニキビが改善するかどうかわかりませんが、腸内環境を整えることが必要なのだと思います。3日間生野菜と果物で生活してみませんか？ その後は腸内の善玉菌を増やすために少しの間、悪玉菌を増やしてしまうお肉類を少なめにしてみましよう。また、砂糖は悪玉菌のエサになるので、甘いものも控えるようにしませんか？ F子さん…ずっとビールとワインを飲んじゃダメ？

私…アルコールは3日間だけ控えましょう。それ以降はOKです。

F子さん…安心した。それならできる♪

F子さんの行動はいつも速くて驚かされます。その話をした3日後、私の外来を受診されました。

F子さん…先生、びっくりしましたよ！ 生野菜と果物だけの生活を1日しただけで、額のニキビがなくなりました。びっくりしたから今日まで続けているけれど、お肌、とっても透明になっていないでしょ？ 今までで最高の肌ですよ！

F子さんは、目には見えないけれども腸内の環境を整える大切さを痛感したようです。その後、砂糖が入ったものは一切食べなくなり、お肉も少量にして、代わりに生野菜と果物をたっぷり取るようになったそうです。

F子さんは、その後ごくたまに額にニキビができて、1日生野菜と果物生活をすると、すぐよくなるとおっしゃっています。

# Chapter 5

## Case 7

### グルテン不耐性のG子さん（28歳 介護士）

G子さんは、中学生のころよりニキビに悩み、ありとあらゆる化粧品を試しても、ニキビが治ることはありませんでした。エステに行つて高額の治療をすすめられ、治療の結果さらにニキビを悪化させることを繰り返して、口コミで当院を知り受診されたのです。

初診時、お顔全体にニキビがあり、大きく化膿したニキビも散在していました。さらに赤みもあり、化粧品がかぶれていることはすぐにわかりました。

化粧品パッチテストについて説明すると、「テストをしなくても、自分でも化粧品が合っていないと気がついていました。よい化粧品があるなら使ってみたいです」とのこと、私が見つけた化粧品をその日から使うことになりました。

2週間後の再診時、ニキビは3分の1くらいに減っています。G子さんもよくなっ

ケーススタディ  
肌荒れ克服への道

# Chapter 5

てよかった」と喜んでくれました。

1カ月後の再診時、ニキビは初診時より減ってはいましたが、新しいニキビもある状態。G子さんは、前よりは減っているので、「このまま続けてみます」とのこと。

半年後、G子さんは再来院しました。全体にニキビがまた増えている状態。

化粧品以外にも何か原因があるはず……と細かいことをたくさん質問しました。

その結果わかったのが、G子さんの食生活はめちゃめちゃで、炭酸飲料が大好き、ファストフードを2日に1回は食べる、お昼は毎日カップ麺、食後は必ず甘いものにしめるというスタイルでした。

果物は食べない、野菜は少しだけ。寝る前にラーメンなどの夜食を食べるという状態です。睡眠時間は毎日3〜4時間、運動は皆無。

今の若い子はこんな生活を送っているのか……と愕然としました。食べ物が体をつくり、お肌もつくることを説明し、「3日間の生野菜と果物生活をしてみましょう」と提案しました。

G子さんは自信がないとおっしゃいましたが、「まずやってみましょう。3日後に

お待ちしています」と強引に約束をとりつけました。

3日後、あんなにたくさん化膿していたニキビが、嘘のように引っ込んでいます。

G子さん本人も、「びっくりしました。食べ物でこんなに変わるなんて……今まで食生活が悪かったなんて思いもしなかったです。これから気をつけてみます」とおっしゃり、私の提案する美肌食生活をできるだけ実行すると約束してくださいました。

その後1カ月して、G子さんは再来院されました。またニキビが増えています。G子さんは自信なさそうに、「たぶん美肌食生活は守っていると思うのですが……」

便の性状を尋ねると、いつもお腹にガスがたまって痛い、下痢と便秘を繰り返しているとのこと。美肌食生活をするとう腸内環境がよくなって、よい便になるはずなのですが。

G子さんは、パンや麺類が大好きで、ラーメンを食べた次の日は、決まってガスがたまりお腹が痛くなると。

ケーススタディ  
肌荒れ克服への道

# Chapter 5

これはグルテン不耐症かも！

その日から、小麦粉を使ったものは1週間一切口にしないように指導しました。

1週間後の再診時、G子さんのニキビはほとんどなくなっています。お腹の痛みも1週間出なかったと言います。今まで、こんなにお腹の調子がよかったことはなかったとか。

G子さんの問題は、合わない化粧品に加えて、今まで気がつかなかったグルテン不耐症のためだったのです。

それから、G子さんは小麦粉を摂取しない食生活を送っています。

本当にきれいなお肌になりました。たまに少しくらいいいやと、パンやラーメンを食べるとやはりニキビや腹痛が出てくるそうです。あまりストレスにならないように、たまにはニキビと腹痛を許すのだとか。

## Chapter 5

### Case 7

#### マッサージのクリームにかぶれてしまうH子さん（19歳 専門学校生）

H子さんは、1年前に高校を卒業し、美容師になるための専門学校に通っています。高校3年くらいからニキビができて始め、専門学校で顔のマッサージをお互いにする実習をしてから顔全体にニキビが広がったとのことでした。

初診時、お顔全体が乾燥して少し赤みがあり、細かいニキビが散在している状態でした。

中学時代はともきれいなお肌だったようです。問診を詳しくしていくと、ニキビができて始めた高校3年生のころに化粧を始めたことが明らかになりました。また、実習でH子さんがお顔のマッサージを受けたときに使ったクリームがヒリヒリしたとのことでした。

H子さんは1年前に始めた化粧品が原因でお肌の調子が悪くなり、実習のときのク

リームが肌に合わず、症状が悪化したものと推測されます。

治療方針は以下にしました。

- 実習のクリームにかぶれたので、軟膏でかぶれの治療をすること
- 1年前まで基礎化粧品も使っていなかったこと、まだ19歳で肌の再生力が強いことから、自らの肌の潤う力がしっかりあるはず。かぶれの治療がすんだら、基礎化粧品をすっぱりやめること

H子さんは、抵抗しました。「基礎化粧品をやめるなんて考えられない！ ガビガビになってしまう！」と。

私は「ではどうして高校2年生までお肌に何もつけていなかったのにガビガビしていなかったの？ そのときのほうがきれいなお肌だったでしょ？」と、1年前を思い出してもらいました。すると、「なるほどやってみます！」と納得していただきました。まずはかぶれの治療のために1週間軟膏を塗っていただき、その後再診されました。

再診時、お顔の乾燥と赤みはすっかり改善し、ニキビの数は少し減っている状態でした。

私…あとは化粧品をすっかりやめてみましょう。もし、ガビガビになってお肌の状態がもっと悪くなるようなことがあったら、来てください。調子が悪くなければ1カ月後に来てください。

H子さん…怖いけどやってみます。

H子さんは、1カ月後に再診されました。ニキビはぐんと減り、数えるほどになっていました。少し乾燥を感じるけれど、つらいほどではないとのこと。お肌の状態がよくなっているのが自分でもわかるので、このまま続けていきたいと。でも、またマッサージの実習があるのでどうしたらいいのかと。

私は、専門学校の先生に提出するための手紙を書きました。H子さんはお肌が弱く治療中であり、マッサージのクリームにかぶれてしまうこと。クリームの代わりにお

肌に無害なオイルを使わせてほしいこと。

H子さんのお肌は順調に回復し、3カ月後の再診時には、高校2年生までのきれいなお肌を取り戻していました。

H子さんは、その後4年ほどして当院を受診されました。

H子さんのお腕の中には可愛い赤ちゃんがいました。

「先生に治療してもらって、お肌に自信を取り戻せたらすぐに彼氏ができたんです！その彼と結婚して、女の子が産まれました。先生に教えてもらったように、この子は年頃になってもお化粧をしないように指導しますね」と。